

県社協のひろば

各地域での福祉課題への取り組みが求められる今、
社会福祉協議会が果たす役割と可能性をあらためて発信
 ～『かながわの社協からの提案2014』～

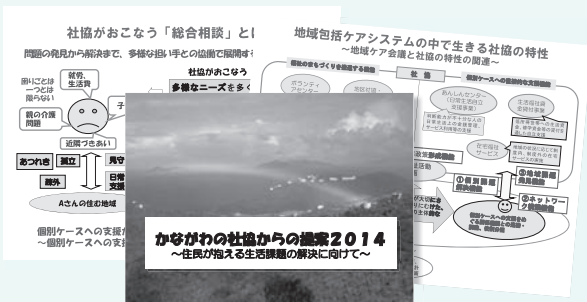
本会市町村社協部会では、社協の共通課題を議論し、課題解決にむけた自主的な研修・研究等の取り組みを行っています。今回は、昨年度「市町村社協強化プロジェクト」で作成した『かながわの社協からの提案2014』（以下、『提案2014』）について紹介します。

社協は、住民と社会福祉法人、福祉団体等、さまざまな地域福祉の担い手の方々に「会員」というかたちで参画していただいている共同体組織という特徴があります。この特徴を生かして、身近な地域の福祉課題をもとに、住民や関係機関等との連携・協働で、たとえばサロンや見守り、災害時・緊急時等を想定した住民相互の助け合い活動や、こうした活動の担い手づくりなどを従来から推進してきました。

現在、超高齢社会を迎え、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられる仕組みづくりや、ひきこもり・社会的孤立など新たに発生している問題への各地域の取り組みが求められて

います。その中で、社協は地域福祉推進を目的とする組織として、ますます多くの方々の共感と賛同を得ながら、住民・関係者の連携・協働による取り組みを展開していく必要があります。

そこで市町村社協の幹部職員で構成する「市町村社協強化プロジェクト」では、各社協の実践を持ち寄りながら、これからの時代の社協の役割と可能性を整理しつつ、住民や関係機関・団体の方々に向けて、社協



プレゼンテーションシート製作を想定した『提案2014』。地域課題を踏まえた協働の輪の拡充に向け、各市町村社協の実践や独自性を踏まえてアレンジしながら活用してもらうことをねらいとしています

が推進する地域福祉活動への協働を呼び掛ける、発信のためのツールを作成することとしました。こうして完成したのが『提案2014』です。

『提案2014』は、社協の使命・法的位置づけ・組織特性など、「社協とは何か」の基礎的な整理を踏まえ、「総合相談」「権利擁護」「地域包括ケアシステム」「小地域福祉活動」「災害」などのキーワードごとに、社協特有の機能を生かして実践してきたこと・できることを提示しています。

また、社協職員の言葉を添えて使うPRツールとして作成しており、地域福祉および社協活動の普及、賛同者の拡大等に活用してもらうことを想定しています。

制度の狭間の問題がクローズアップされ、地域の課題に即した多様な資源の連携・協働による取り組みの創出が求められる今だからこそ、社協の役割や可能性を広く関係者に発信し、地域課題解決のための協働の場として社協を活用していただきたいと思います。この『提案2014』を火種に、各市町村社協から地域福祉を共に進める関係者に向けた動きへとつなげていきたいと考えています。

☎ 045-312-4815
 FAX 045-312-6307

(地域福祉推進担当)

第13回かながわ高齢者福祉研究大会

期日 平成26年7月8日(火)
 会場 パシフィコ横浜会議センター2～5階

- 研究発表(166発表)
- 介護技術発表(21発表)
- 施設紹介・就職相談コーナー(95ブース)
- ◆福祉・介護専門書籍紹介 ◆企業協賛ブース[介護用品・福祉機器等展示コーナー]

※大会の詳細、参加申込はホームページでご確認ください
 URL <http://www.kanagawafukushitaikai.jp/>

かながわ 高齢者 大会

検索



【問合先】本会社会福祉施設・団体担当
 ☎045-311-1424 FAX045-313-0737